

第51期事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日



ゼリア新薬

Z E R I A



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351 (代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
<http://www.zeria.co.jp/>



ゼリア新薬工業株式会社

証券コード：4559



株主の皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
第51期の事業概況に関しまして、
ここにご報告させていただきます。

代表取締役社長
伊藤 幸顕

CONTENTS

トップインタビュー p.1
 研究開発 p.4
 株主様優待のご案内 p.5
 財務諸表(連結) p.6
 財務諸表(単体) p.8
 連結財務ハイライト p.10
 会社情報 p.11
 株式情報 p.12
 株主メモ p.13

Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念



Q

当期の業績についてお聞かせください。

A 当期の業績は、連結売上高562億9百万円（前期比3.4%増）となりました。利益につきましては、連結経常利益19億99百万円（前期比16.8%減）、連結当期純利益13億85百万円（前期比10.9%減）となりました。
 なお、当期配当金につきましては、1株当たり16円とさせていただきます。

Q

事業部門別状況について部門別にご説明ください。
 医療用医薬品部門はいかがですか。

A 医療用医薬品部門では、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。また、営業力強化を目的として営業本部の組織改革を実施し、重点品目の更なる市場構築に努めてまいりました。

最重要領域である消化器官用薬におきまして、H₂受容体拮抗剤「アシノンカプセル」、胃炎・潰瘍治療剤「マーズレン-S顆粒・ES錠」は市場環境の変化と市場競争の激化による苦戦が続きました。また、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック顆粒15%」は製品特性を活かしたプロモーション活動を継続的に行ってまいりましたが、売上高は微減となりました。一方、高血圧・狭心症治療剤「ランデル錠」は市場認知度の上昇により堅調に推移いたしましたが、非ステロイド性鎮痛・消炎剤「ベオン錠80」、白血球減少抑制剤「アンサー20注」、吸収性局所止血材「アビテン」、便秘治療剤「新レシカルボン坐剤」は減少いたしました。

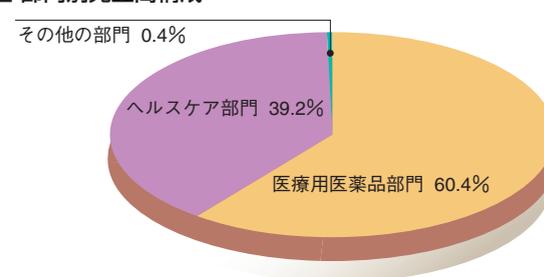
この結果、当部門の売上高は、339億67百万円（前期比1.5%減）となりました。なお、H₂受容体拮抗剤「アシノン」におきましては、平成16年9月に日本国内における商標権を含むすべての権利等の取得に関する契約をイーライリリー社と締結いたしました。これによりアシノン製品群の開発から販売まで独自の展開が可能となりました。

Q

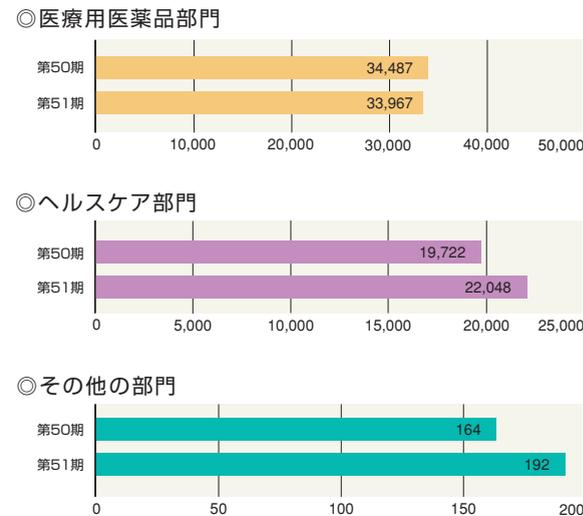
ヘルスケア部門はいかがですか。

A ヘルスケア部門では、更なる高齢化社会が進展する中、ゼリアフランチャイズストア連盟加盟店や薬系量販店を中心に、セルフプレベンション（予防）を指向した製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

■ 部門別売上高構成 (%)



■ 部門別売上高推移 (単位:百万円)



主力製品群といたしましては、当社の独自性あふれるコンドロイチン群、ヘパリーゼ群、ローヤルゼリー群をはじめ、ウィズワン群などの市場拡大に向けた積極的な営業展開を進めてまいりました。中でもコンドロイチン群は、他社による市場への参入もある中で大きく伸長し、トップブランドとしての地位をゆるぎないものといたしました。

更に、市場ニーズの高まりとともに健康補助食品等の展開も積極的に行っており、引き続き順調な推移を示しております。

これらの結果、当部門の売上高は220億48百万円（前年比11.8%増）となりました。

なお、平成17年5月1日より当部門の名称をコンシューマーヘルスケア部門に変更いたしております。



◎主要医療用医薬品等

種別	製品名
消化器官用薬	アシノンカプセル(150、75)
	プロマック顆粒15%
	マーズレン-S顆粒・ES錠
中枢神経系用薬	ベオン錠80
循環器官用薬	ランデル錠(10、20、40)
血液及び体液用薬	アンサー20注
医療用具	アピテン・シリンジアピテン



◎主要一般用医薬品等

種別	製品名
滋養強壮薬	コンドロイチンZ錠
	新ヘパリーゼプラス
	ヘパリーゼドリンク
	ハイゼリー顆粒
	ローヤルゼリー散
	ハイゼリーB・ハイゼリーBフレッシュ 新ローヤルゼレントB
胃腸薬	ウィズワン・ウィズワンα・ウィズワンプラス
医薬部外品	ローヤルゼリー配合ももの味 (販売名：ヘルサンB)
	ローヤルゼリー配合りんご味 (販売名：ヘルサンBA)
皮膚用薬	ドルマイシン軟膏
	ドルマイコーチ軟膏
	アポストイーローション
栄養食品	新健康習慣シリーズ

研究開発についてお聞かせください。

研究開発部門におきましては、国際的に通用する自社オリジナル新薬の創製を念頭に、海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績ある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

注力領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、日米欧3極で開発を進めている自社オリジナ

ル品の「Z-338」は、機能的胃腸症を適応として、国内でフェーズⅡが順調に進んでおります。また、欧州ではフェーズⅡ、米国においては、実施許諾契約に基づき山之内製薬㈱(現アステラス製薬㈱)がフェーズⅡを実施しております。

米国インカイン社より導入した大腸内視鏡前腸管洗浄剤「Z-205」は、国内フェーズⅢが終了し、本年2月に製造承認申請いたしました。昨年度新たに導入したスイス・ティロツ社の炎症性腸疾患治療剤「Z-206」は、国内フェーズⅠを終了し、海外での情報を活用することにより、フェーズⅡの要素を含むフェーズⅢへ移行いたしました。

「プロマック顆粒」につきましては、味覚障害効能追加のフェーズⅡを開始いたしました。

また、「Z-360」は、膵臓癌の適応を取得すべく、英国でのフェーズⅠb/Ⅱa(患者を用いた安全性・有効性の検討)の開始準備を進めております。

中央研究所で新たに創製された過敏性腸症候群治療剤「Z-501」は、米国でのフェーズⅠ実施を目指して準備を開始いたしました。

また、「アンサー注」は子宮頸癌に対する追加フェーズⅢを引き続き進めております。

ヘルスケア向け製品につきましては、医療用医薬品成分のスイッチOTC薬であるH₂ブロッカー胃腸薬「アシノンZ」の承認を取得いたしました。また、新製品、PB品を順次発売いたしました。

医療環境の変革の動きについて、どのようにお考えですか。

わが国における少子高齢化の進展や経済の低成長を背景に社会保障制度全般に対する見直しが継続的に進んでおります。平成17年度には介護保険制度、平成18年度には医療保険制度の見直しが議論され、社会保障給付全般にかかる費用の見直しと併せて抜本的な税制改革も計画されております。また、薬事行政の一環である医薬品の承認制度においては、平成17年4月施行の改正薬事法によって、製造販売承認制度が導入されたことで、企業間の機能分化と提携構築などが一層進展するものと思われます。

第5次中期経営計画の進捗状況をお聞かせください。

当社は第5次中期経営計画(平成13年度から平成17年度まで)において「企業価値」を追求し、「質を求める経営の徹底」を推進してまいりました。しかしながら、将来の新薬パイプラインの強化・充実を図るための研究開発費の大幅な増加や医療用医薬品の権利取得等を行ったことから、17年度末での数値目標の達成については極めて厳しい状況となりました。このため本年度は平成18年度にスタートする第6次中期経営計画策定のための体質強化の年と位置付けて内部体制を整備してまいります。

次期の取り組みについてお聞かせください。

医療用医薬品事業では、環境変化に対応すべく情報化投資を一層積極化し、より市場に密着した効率的な営業活動を推進できる体制を構築し、消化器系薬剤を中心とした市場育成強化に取り組んでまいります。ヘルスケア事業では、ナショナルブランド品の育成による事業拡大に努め、ヘルスケア市場における当社の認知度をより高め、更に周辺分野への事業拡大にも取り組んでまいります。

研究開発におきましては、国際社会に貢献する新薬創出を目指して国内外の大学、企業との共同研究を進め、新薬パイプラインの充実と強化に取り組んでまいります。また、今後本格化する超高齢化社会を展望して、セルフメディケーションに対応する製品開発にも積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

当社における新薬のパイプラインは国内外を合わせて8品目であります。

研究開発の状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

開発段階	開発番号	開発形態	適応症	作用機序等	備考
申請中	Z-205	自社（導入）	大腸内視鏡前腸管洗浄剤	腸管洗浄剤	
	Z-103	自社（導入）	胃潰瘍	口腔内崩壊錠	剤型追加
フェーズⅢ	Z-206	自社（導入）	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調節製剤	
フェーズⅢ準備中	Z-206	自社（導入）	クローン病	pH依存型放出調節製剤	
フェーズⅡ	Z-338	自社	機能性胃腸症	上部消化管運動改善作用	
	Z-103/ プロマック顆粒	自社（導入）	味覚障害	亜鉛補充	効能追加
フェーズⅠ準備中	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニン受容体拮抗作用	

2) その他の分野

開発段階	開発番号	開発形態	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	ZC-102/ ベオン錠	共同開発 (日本ケミファ)	急性上気道炎	シクロオキシゲナーゼ阻害作用	効能追加
フェーズⅢ追加試験	Z-100/ アンサー注	自社	子宮頸癌	・免疫調節 ・白血球増加作用 ・好中球機能亢進作用	効能追加

Ⅲ. 海外開発状況

開発段階	開発番号	開発形態	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅡ(欧州)	Z-338	自社	機能性胃腸症	上部消化管運動改善作用	
フェーズⅡ(北米)	Z-338	共同開発 (アステラス製薬)	機能性胃腸症	上部消化管運動改善作用	
フェーズⅠ準備中(米国)	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニン受容体拮抗作用	
フェーズⅠb/Ⅱa準備中(英国)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリン受容体拮抗作用	

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っております。私たちの業務に対する皆様のご理解をいただきますよう、当社の製品をお試しいただくことにいたしまして2つのコースを設け、ご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

実施の方法

毎年9月30日現在及び3月31日現在における所有株式数1,000株(1単元)以上の株主の皆様に対し、年間2回、下記のAまたはBコースのいずれかを贈呈いたします。

Aコース

からだの脂肪を考える、新コンセプト食品

『新健康習慣』^{2週間セット} 1箱

新健康習慣は、各種栄養成分をバランスよく配合した1食約220キロカロリーという低エネルギーの食生活サポート食品です。「体脂肪率が高い」「健康的なウエイトコントロールをしたい」といった方におすすめです。



Bコース

ローヤルゼリー配合

『ももの味』『りんご味』
『新健康習慣げんとう四健麗茶』セット

ローヤルゼリー、ヨクイニン、ビタミン類を配合して大好評の「ももの味」「りんご味」を各10本。さらに緑茶に桑、ヤーコン、バナバをブレンドした健康茶、「新健康習慣げんとう四健麗茶」3箱をセットにしました。

（ローヤルゼリー配合ももの味50mL×10本入1箱
ローヤルゼリー配合りんご味50mL×10本入1箱
新健康習慣 げんとう四健麗茶14袋入×3箱）



財務諸表(連結)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度 平成17年3月31日現在	前連結会計年度 平成16年3月31日現在
[資産の部]			
流動資産		25,260	25,444
現金及び預金		2,922	2,309
受取手形及び売掛金		16,133	17,092
たな卸資産		3,935	3,695
繰延税金資産		904	805
その他		1,420	1,640
貸倒引当金		△56	△99
固定資産		29,901	22,859
有形固定資産		15,404	15,611
建物及び構築物		4,980	5,210
機械装置及び運搬具		784	777
土地		9,338	9,338
その他		301	284
無形固定資産		1,274	208
投資その他の資産		13,222	7,040
投資有価証券		6,625	4,137
長期前払費用		4,808	114
繰延税金資産		915	1,243
その他		1,033	1,689
貸倒引当金		△160	△144
資産合計		55,162	48,304

科目	期別	当連結会計年度 平成17年3月31日現在	前連結会計年度 平成16年3月31日現在
[負債の部]			
流動負債		22,741	15,017
支払手形及び買掛金		7,201	6,515
短期借入金		10,319	3,431
未払法人税等		807	740
賞与引当金		985	977
返品調整引当金		243	265
売上割戻引当金		408	410
その他		2,775	2,676
固定負債		4,706	3,957
長期借入金		2,827	1,217
退職給付引当金		1,593	2,456
役員退職慰労引当金		212	212
その他		72	70
負債合計		27,447	18,974
[少数株主持分]			
少数株主持分		—	—
[資本の部]			
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		5,397	5,397
利益剰余金		20,717	20,040
その他有価証券評価差額金		1,137	945
自己株式		△6,130	△3,647
資本合計		27,715	29,330
負債、少数株主持分及び資本合計		55,162	48,304

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	前連結会計年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高		56,209	54,375
売上原価		26,850	26,960
返品調整引当金戻入額		△22	△152
売上総利益		29,380	27,567
販売費及び一般管理費		26,958	25,519
営業利益		2,422	2,047
営業外収益		141	451
受取利息		2	0
受取配当金		90	33
有価証券売却益		—	107
為替差益		—	211
損害補償金		—	47
その他		48	50
営業外費用		564	94
支払利息		112	66
コミットメント契約費用		129	—
出資運用損		210	—
為替差損		81	—
その他		29	27
経常利益		1,999	2,404
特別利益		595	668
固定資産売却益		2	—
貸倒引当金戻入額		13	18
販売権行使許諾金		—	650
退職給付信託設定益		579	—
特別損失		24	100
固定資産売却損		0	0
固定資産除却損		7	13
固定資産評価損		4	—
退職加算金		12	85
税金等調整前当期純利益		2,570	2,972
法人税、住民税及び事業税		1,088	1,318
法人税等調整額		97	100
当期純利益		1,385	1,553

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	前連結会計年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高		5,397	5,397
資本剰余金期末残高		5,397	5,397
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高		20,040	19,226
利益剰余金増加高		1,385	1,553
当期純利益		1,385	1,553
利益剰余金減少高		708	739
配当金		708	739
利益剰余金期末残高		20,717	20,040

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	前連結会計年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,468	1,339
投資活動によるキャッシュ・フロー		△8,109	△816
財務活動によるキャッシュ・フロー		5,303	△1,272
現金及び現金同等物に係る換算差額		△49	0
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)		612	△749
現金及び現金同等物の期首残高		2,178	2,928
現金及び現金同等物の期末残高		2,790	2,178

財務諸表(単体)

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
[資産の部]			
流動資産		24,335	24,527
現金及び預金		1,968	1,419
受取手形		968	1,227
売掛金		15,670	16,197
製品及び商品		2,634	2,055
半製品及び仕掛品		216	397
原材料及び貯蔵品		994	1,141
未着品		47	68
前渡金		662	571
前払費用		105	88
繰延税金資産		822	757
その他		290	690
貸倒引当金		△46	△89
固定資産		28,369	21,423
有形固定資産		13,612	13,911
建物		4,128	4,428
構築物		210	233
機械装置		780	771
車両運搬具		4	5
工具器具備品		300	281
土地		8,188	8,188
建設仮勘定		—	2
無形固定資産		1,273	207
商標権		647	—
特許実施権		297	40
ソフトウェア		305	143
その他		22	23
投資その他の資産		13,483	7,304
投資有価証券		6,370	3,882
出資金		0	706
繰延税金資産		843	1,172
敷金及び保証金		484	532
長期前払費用		4,808	114
その他		1,135	1,040
貸倒引当金		△160	△144
資産合計		52,704	45,950

科目	期別	当期	前期
		平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
[負債の部]			
流動負債		22,043	14,389
支払手形		3,348	3,439
買掛金		3,833	3,061
短期借入金		9,620	3,200
1年以内返済予定の長期借入金		352	21
未払金		1,979	1,788
未払費用		327	307
未払法人税等		611	495
未払消費税等		94	1
預り金		48	48
賞与引当金		965	960
返品調整引当金		243	265
売上割戻引当金		408	410
その他		210	389
固定負債		3,461	2,679
長期借入金		1,664	16
退職給付引当金		1,593	2,456
役員退職慰労引当金		203	205
その他		0	0
負債合計		25,505	17,069
[資本の部]			
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		5,397	5,397
資本準備金		5,397	5,397
利益剰余金		20,202	19,592
利益準備金		1,648	1,648
任意積立金		16,559	15,959
別途積立金		16,559	15,959
当期末処分利益		1,995	1,984
株式等評価差額金		1,136	945
自己株式		△6,130	△3,647
資本合計		27,199	28,881
負債及び資本合計		52,704	45,950

損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成16年4月1日から平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで
[経常損益の部]			
営業損益の部			
営業収益		54,718	52,999
売上高		54,718	52,999
営業費用		53,212	51,807
売上原価		26,574	26,696
返品調整引当金戻入額		△22	△152
販売費及び一般管理費		26,660	25,263
営業利益		1,506	1,192
営業外損益の部			
営業外収益		592	691
受取利息及び配当金		532	264
有価証券売却益		—	107
為替差益		—	211
その他の営業外収益		60	108
営業外費用		536	66
支払利息		84	39
コミットメント契約費用		129	—
出資運用損		210	—
為替差損		81	—
その他の営業外費用		29	27
経常利益		1,562	1,817
[特別損益の部]			
特別利益		596	671
固定資産売却益		2	—
貸倒引当金戻入額		14	21
販売権行使許諾金		—	650
退職給付信託設定益		579	—
特別損失		24	100
固定資産売却損		0	0
固定資産除却損		7	13
固定資産評価損		4	—
退職加算金		12	85
税引前当期純利益		2,134	2,388
法人税、住民税及び事業税		682	974
法人税等調整額		133	101
当期純利益		1,318	1,312
前期繰越利益		1,026	1,036
中間配当額		349	364
当期末処分利益		1,995	1,984

利益処分

(単位:円)

科目	期別	当期	前期
当期末処分利益		1,995,326,016	1,984,795,796
これを次のとおり処分いたします。			
利益配当金		339,830,768 (1株につき8円)	358,373,264 (1株につき8円)
任意積立金			
別途積立金		600,000,000	600,000,000
次期繰越利益		1,055,495,248	1,026,422,532

(注) 1. 平成16年12月10日に349,808,248円(1株につき8円)の中間配当を実施いたしました。
2. 利益配当金は自己株式5,811,327株を除いて計算しております。

項目	第47期 H13/3	第48期 H14/3	第49期 H15/3	第50期 H16/3	第51期 H17/3
売上高 (百万円)	55,766	53,837	55,055	54,375	56,209
経常利益 (百万円)	6,405	3,924	3,004	2,404	1,999
当期純利益 (百万円)	1,365	1,449	2,039	1,553	1,385
総資産 (百万円)	62,650	55,029	50,310	48,304	55,162
株主資本 (百万円)	29,306	29,730	29,708	29,330	27,715
株主資本利益率 (ROE) (%)	4.7	4.9	6.9	5.3	4.9
売上高経常利益率 (%)	11.5	7.3	5.5	4.4	3.6
売上高当期純利益率 (%)	2.4	2.7	3.7	2.9	2.5
総資本経常利益率 (%)	10.7	6.7	5.7	4.9	3.9
株主資本比率 (%)	46.8	54.0	59.1	60.7	50.2
1株当たり当期純利益 (円)	28.28 (27.47)	30.03 (30.03)	42.82	33.93	31.77
1株当たり株主資本 (円)	606.90 (606.08)	617.07 (617.07)	633.32	654.74	652.45

(注) 第49期から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。なお第48期までの1株当たり当期純利益及び1株当たり株主資本について同会計基準を適用して算出した場合を()内に記載しております。

連結子会社 2社

ゼリアヘルスウエイ株式会社

売上高 80億65百万円
 資本金 85百万円 (議決権比率100%)
 事業内容 健康食品の仕入・販売

株式会社ゼービス

売上高 5億84百万円
 資本金 1億80百万円 (議決権比率100%)
 事業内容 保険代理業・不動産業等

■ 会社概要

創 立 1955年12月
 資 本 金 6,593,398,500円
 社 員 数 1,225名
 主な事業内容 1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入
 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療用具の製造、販売及び輸出入

■ 役員 (平成17年6月29日現在)

代表取締役社長 伊 部 幸 顕
 常務取締役 猪 口 博 明
 常務取締役 長 江 晴 男
 常務取締役 斎 藤 武
 取 締 役 大 野 晃
 取 締 役 吉 島 光 之
 取 締 役 花 田 雅 彦
 取 締 役 熊 井 雅 一
 取 締 役 吉 田 泰 久
 取 締 役 菅 幹 雄
 取 締 役 永 谷 康 典
 取 締 役 瀬 沼 宏 章
 取 締 役 森 山 茂
 取 締 役 堀 博 之
 常勤監査役 浜 野 峻 至
 常勤監査役 田 中 辰 幸
 監 査 役 小 笠 原 日 出 男
 監 査 役 中 由 規 子

■ 事業所

●本 社 東京都中央区
 ●札幌支店 札幌市
 ●仙台支店 仙台市
 ●東京支店 東京都中央区
 ●神奈川営業所 横浜市
 ●埼玉営業所 さいたま市
 ●千葉営業所 千葉市
 ●北関東営業所 水戸市
 ●関越営業所 新潟市
 ●甲信営業所 松本市
 ●名古屋支店 名古屋市
 ●静岡営業所 静岡市
 ●大阪支店 吹田市
 ●大阪第二営業所 堺市
 ●神戸営業所 神戸市
 ●京都営業所 京都市
 ●金沢営業所 金沢市
 ●中四国支店 広島市
 ●岡山営業所 岡山市
 ●高松営業所 高松市
 ●松山営業所 松山市
 ●福岡支店 福岡市
 ●中央研究所 埼玉県大里郡
 ●埼玉工場 埼玉県大里郡
 ●筑波工場 牛久市
 ●東京物流センター 川口市
 ●札幌物流センター 札幌市
 ●埼玉物流センター 埼玉県大里郡
 ●大阪物流センター 大東市
 ●出張所 青森・郡山・宇都宮・富山・米子・山口・高知・徳島・大分・熊本・長崎・鹿児島・沖縄

■ 株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数 **119,860,000株**
- ② 発行済株式の総数 **48,290,173株**
- ③ 株主数 **3,666名**

■ 大株主

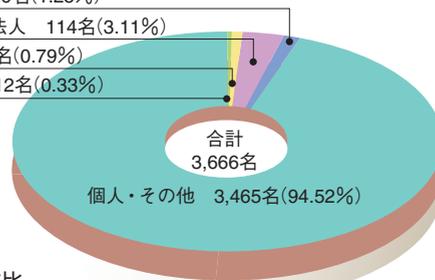
株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社伊部	5,510,770	11.4	—	—
ゼリア新薬工業従業員持株会	2,000,417	4.1	—	—
森永乳業株式会社	1,854,741	3.8	1,596	0.0
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	1,754,000	3.6	—	—
伊部 幸 顕	1,404,425	2.9	—	—
株式会社UFJ銀行	1,300,000	2.6	—	—
株式会社三井住友銀行	1,278,301	2.6	—	—
株式会社りそな銀行	1,074,896	2.2	—	—
あいおい損害保険株式会社	858,691	1.7	—	—
ロザラウンド株式会社	840,079	1.7	—	—

(注) 上記の他に、当社が自己株式として5,811,327株所有しております。

■ 所有者別株式分布状況

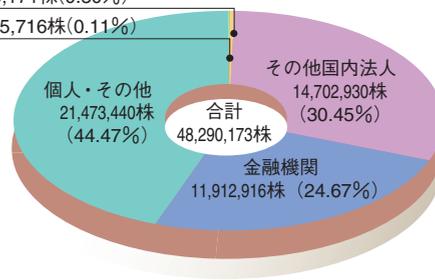
◎ 株主数構成比

- 金融機関 46名(1.25%)
- その他国内法人 114名(3.11%)
- 外国人 29名(0.79%)
- 証券会社 12名(0.33%)

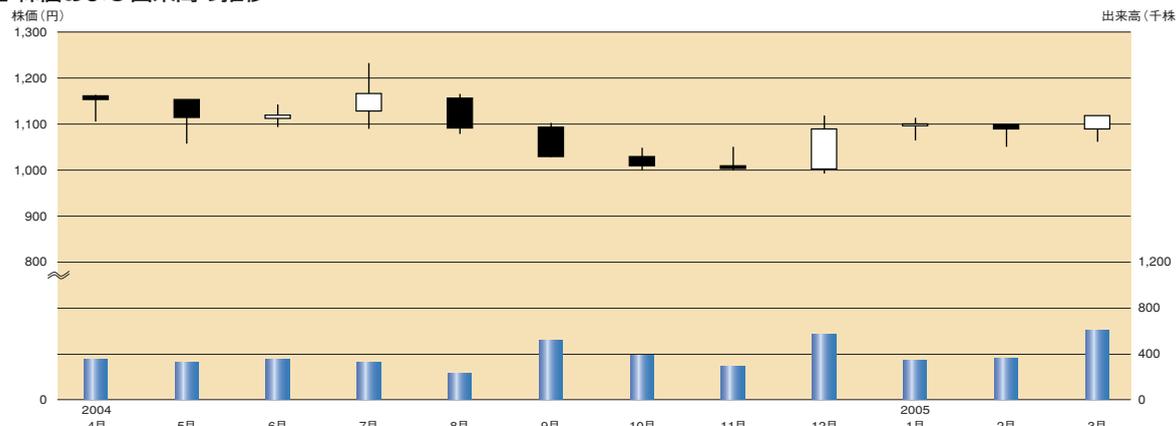


◎ 株式数構成比

- 外国人 145,171株(0.30%)
- 証券会社 55,716株(0.11%)



■ 株価および出来高の推移



■ 決算期 3月31日

■ 利益配当金 3月31日

受領株主確定日

■ 中間配当金 9月30日

受領株主確定日

■ 定時株主総会 6月下旬

■ 公告方法 電子公告による

<http://www.zeria.co.jp/>
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。

■ 名義書換代理人

〒105-8574
東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

■ 同事務取扱所

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社証券代行部
03-3323-7111 (代)

■ 同 取 次 所

中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

■ 証 券 コ ー ド 4559

(お知らせ)

住所変更、単元未済株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤルまたはインターネットホームページ

☎0120-87-2031

https://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06/p_06_11.html
で24時間受付しております。

最新のIR情報は
当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp/>



当社ではスピーディに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。